

# 令和6年度 上尾市立原市小学校 学校経営方針

上尾市立原市小学校  
校長 松澤 歩

## 1 学校教育目標

### 豊かな心を育み、自ら学び たくましく生きる子

教育基本法を基本理念として、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を作る」という目標を学校・家庭・地域で共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を育むために、学校教育目標「豊かな心を育み、自ら学びたくましく生きる子」を定める。

様々な経験を通して、感動したり、友達と協力するよさに気付いたりすることで、人間性を豊かにすること、予測困難な時代の変化に積極的に向き合い、自ら課題を解決しようとするたくましさを育成することを目指して、学校経営を推進する。

## 2 学校経営の基本方針

### 夢を育み 未来を創る 原市小学校 ～ 輝く笑顔 あふれるパワー ～

学校教育目標の具現化のために、本校では夢を育み、未来に向かって生きる子供を育成していく。児童が、きらきらと笑顔を輝かせ、あふれるパワーで積極的に課題に立ち向かっていけるよう、教職員一丸となって取り組んでいく。

#### (1) 輝く笑顔のために

○児童が「できた」「分かった」と実感できる授業

「教師は授業で勝負する」見通しと振り返りを大切にした授業を実践する。

○児童が「やってよかった」と感じる声かけ

学習面、生活面において、児童のがんばりを認め、称賛する。

○児童が安心できる環境づくり

自分の居場所を感じ、笑顔で過ごせる人間関係の構築に努める。

#### (2) あふれるパワーのために

○たくましく生きる力の育成

課題の乗り越え方を身に付けさせる。

○児童の自己肯定感を高める学級経営

様々な経験をさせることで、児童の自信につなげる。

○他者との協働のよさを感じる学校行事

友達や異学年との交流で、協力することのよさに気付かせる。

## 3 目指す学校像

### 笑顔とパワーがあふれる学校

○確かな学力を育む学校

○元気なあいさつが響き渡る学校

○児童、教職員、保護者、地域のパワーが集結する学校

#### 4 目指す児童像

##### 未来にたくましく生きる子

- 思いやりの心を持ち、素直で明るい子
- 自ら学び、かしこく創造力のある子
- 進んで体を鍛え、粘り強い子

#### 5 目指す教師像

##### 児童とともに学び続ける教師

- 児童の学ぶ喜びを充実させるための自己研鑽に励む教師
- 褒め、認め、自己肯定感を高める教師
- 児童に寄り添い、温かい人間関係を築ける教師

#### 6 指導の重点

##### (1) 確かな学力の育成

- 学ぶために必要な5つの力を育成する。
  - ①継続して学習する力 ②集中して学習する力 ③静かに学習する力
  - ④丁寧に学習する力 ⑤分からないことを自分で調べる力
- 見通しと振り返りを充実させた1時間の授業を組み立て、児童に学ぶ喜びを実感させるための発問を工夫する。
- 協働的な学びや、問題解決的な学習を取り入れ、児童の学びを深める。
- 学んだことを生活に生かす「生きる力」を育成するために、体験的な学習を充実させる。
- 一人一台のICT端末を活用し、個別最適な学びを充実させる。
- 外国語教育を充実させ、進んで英語を話せる児童を育成する。
- 小中一貫教育を推進し、9年間を見通した学力の定着を目指し、相互交流を深める。

##### (2) 豊かな心の育成

- 道徳の授業を充実させることで、児童の道徳的実践力を養う。
- 学級活動の授業を充実させることで、他者理解を深める。
- 気持ちのよい、さわやかなあいさつができるよう指導する。
- 詩を書く活動を通して、豊かな表現力を養う。
- クラブ活動、委員会活動、なかよしタイム（縦割り班活動）などの異学年交流を充実させる。
- 卒業後の自分の姿をイメージすることができるよう、原市中学校との交流を充実させる。
- 学校応援団活動など地域の方との触れ合いをとおして、自分も地域の一員であるという意識をもたせる。
- 毎月25日を、スマイルデーとし、教師、児童、保護者が「ふわふわ言葉（肯定的な言葉）」を使う日とする。

##### (3) 健やかな体の育成

- 体育の授業を充実させることで、体力向上に努める。

- 20分休みのランランタイムを充実させることで、体力向上に努める。
- 外遊びを励行し、自ら進んで運動することのよさを感じさせる。
- 保健・給食・体育環境を改善し、安心・安全な環境づくりに努める。
- 学校保健委員会を計画的に実施し、保護者、地域との連携を深める。

#### (4) 生徒指導・教育相談の充実

- 「原小っ子のやくそく」の共通理解のもと、基本的な生活習慣を徹底させる。
- いじめを見逃さない校内体制を構築し、いじめの早期発見、早期対応に努める。
- 不登校の未然防止、早期発見、早期支援に努める。必要に応じて、関係機関との連携を図る。
- 校内の相談体制を充実させ、さわやか相談員、スクールカウンセラー等との連携のもと、保護者、児童の支援に当たる。
- 特別支援教育を推進し、特別な教育的支援を必要とする児童への指導を充実させる。
- さわやかルームを整備し、教室で学習することが困難な児童の居場所とする。

#### (5) 安全教育の徹底

- 安全点検の着実な実施と、迅速な対応を行う。
- 避難訓練を実施し、児童の「自分の命は自分で守る」という防災意識を高める。
- 危機管理対応マニュアルを定期的に見直し、改善し、安全管理を徹底する。
- 登下校、下校後の自転車の乗り方などの指導を充実させ、交通事故防止に努める。

#### (6) 開かれた学校づくりの推進

- コミュニティ・スクールとして学校運営協議会と連携した学校経営を推進する。
- 保護者・地域との連携を深め、信頼される学校を目指す。
- 学校応援コーディネーターを中心にした学校応援団活動を充実させ、地域の教育力を活用する。
- 学校公開、ホームページでの教育活動の広報等、積極的に学校の教育活動を発信する。

#### (7) 教職員の働き方改革

- 教職員事故を絶対に起こさないために、心に余裕がもてる働き方を推進する。
- 出退勤システムを確実に運用する。(勤務時間外在校等時間月45時間以内)
- 計画的な年休取得を促進するとともに、ふれあいデー(月1回)、定時退勤ウィーク(年1回)を確実に実施する。
- 校務支援システムの活用による業務の効率化を図る。
- 会議の精選を行い、会議の回数削減、時間短縮を行う。